

問	私たちは「ユビキタス社会」に生きている。ユビキタス社会とは、どこでも、何でも、誰でもがコンピュータネットワークに接続でき、そこから様々なサービスの提供を受けることができる社会のことである。あなたがユビキタス社会に生きていると実感するときはいつか。また、このような社会において、重要なことは何だと考えるか。
---	--

1	私がユビキタス社会に生きていると感じるのは、通学途中に電車の中での光景を見たときである。
2	時には、満員電車の半数以上の通勤・通学者がスマートフォンや携帯電話をいじっている。
3	私自身も、動画配信サービスで、音楽を聴いたり、数学や英語などの講義を聴講したりしている。
4	ただ、あまりに便利なために、かえって心配になることがある。
5	それは、人々があまりにコンピュータに依存しすぎて、仮想と現実を混同しないかということである。
6	そして、仮想の世界が大きくなると、現実が歪んで理解されるのではないかと考える。
7	具体的に言えば、現実世界にある人々のつながりや思いやり、モラルや伝統が失われてしまうのではないかと。
8	私たちは現実の世界に生きている。
9	ネットワークの中で味わう感動より、現実の中で苦労した末に得られる感動のほうが大きいはずだ。
10	ユビキタス社会に生きながら、現実の体験を重視し、仮想と現実のバランス感覚を保つことが重要だ。
11	
12	

1	I feel I live in this society when I get on the train on my way to school.
2	Sometimes more than half of the passengers on a crowded train use their smartphones or cell phones.
3	I also use it to listen to music or to study math,English,and so on.
4	However, from time to time,I feel worried since they are too convenient.
5	They can make you addictive and you can't distinguish reality from virtual world.
6	And then, the longer you live in virtual world,the more difficult you will find it to understand what the real world ought to be.
7	For example,you lose the connectin with people in real life,moral, and tradition.
8	You do live in reality.
9	When you have difficulty doing something,you can be impressed by the achievement in reality than on the Internet.
10	It is important for you to make much of reality and use those convenient machine effectively.
11	
12	